



とくがわいえやす                      ひとじち  
徳川家康は、なぜ人質にされたの



おだし いまがわし                      まつだいらし  
織田氏も今川氏も、松平氏を利用しようと考えて  
いたからだよ。

徳川家康は1542年に、三河（愛知県）の岡崎（岡崎市）城主、松平広忠の長男として生まれました。幼名は竹千代で、母は刈谷（刈谷市）城主の水野忠政の娘です。当時の松平氏は、尾張（愛知県）の織田信秀（信長の父）と戦っているときで、駿河（静岡県）の今川義元に頼っていました。

1543年に水野忠政が死ぬと、その子信元は織田方についたので、家康の母は離縁されて、岡崎を去りました。一族の松平信孝（広忠のおじ）なども、織田方につきました。このような松平氏の内部分裂を利用して、織田軍がさかんに攻めてくるようになりました。広忠が今川義元に援軍を頼むと、義元は、家康を人質に差し出すよう、要求してきました。

### 6歳で織田信秀の人質になった

1547年、6歳（満4歳）の家康が家臣に守られて、岡崎を出発し、三河湾を船でわたって、渥美半島の田原（田原町）に着くと、田原城主の戸田康光が、家康をとらえて、織田信秀のもとへ送りました。康光は、広忠の後妻の父親だったので、思いがけない裏切りでした。信秀は、家康を人質として利用し、広忠に、織田方につくよう要求しましたが、広忠はことわりしました。

### 8歳で今川義元の人質になった

その後、広忠と今川軍は、裏切り者を次々にたおし、小豆坂の戦い（1548年）で織田軍を破りましたが、広忠は翌年、暗殺されました。今川軍は安祥城（安城市）を攻めて、織田信広（信長の異母兄）を捕らえ、信広と8歳の家康を交換しました。今川義元も、松平氏を利用しようと考えていたので、家康を人質として、駿府（静岡市）でくらすせたのです。